

平成29年度大学院地球社会統合科学府

修士課程（夏季）入学試験

入学試験問題

⑭ 歴 史

注意事項

1. 問題は「はじめ」の合図があるまで開けないこと。
2. 試験開始後、解答用紙に受験番号等を明記すること。
3. 解答用紙は、必ず全部提出すること。
4. 問題冊子は持ち帰ってよい。
5. 指定の解答用紙を用いること。

問題 1 は共通問題です。必ず解答してください。

問題 2 は選択問題です。問 A ・問 B ・問 C のいずれかを選び、解答してください。

解答用紙は計 2 枚あります。解答は問題 1、問題 2 それぞれ別の解答用紙に記入し、計 2 枚を提出してください。

問題 2 については、選択した問題の番号を明記してください。

問題 1 (100 点)

共通問題

古琉球が中継貿易によって繁栄した歴史的背景について説明した上で、中継貿易の具体的な実態について論じなさい。

問題 2 (100 点)

選択問題

問 A

「後期倭寇」「文禄・慶長の役」「明清交替」など 16 世紀から 17 世紀にかけての東アジア広域史を研究するに際し、基本となる重要史料を複数提示し、それぞれの史料が持つ利点と使用にあたって留意すべき点について論じなさい。

問 B

戦後沖縄をめぐるいわゆる「天皇メッセージ」とは何のことか、またその歴史的意義について説明しなさい。

問 C

1895 年から 1945 年までの日本の「帝国主義」・「植民地政策」と、19 世紀から 20 世紀の欧米諸国の「帝国主義」・「植民地政策」の、共通点と相違点を説明しなさい。